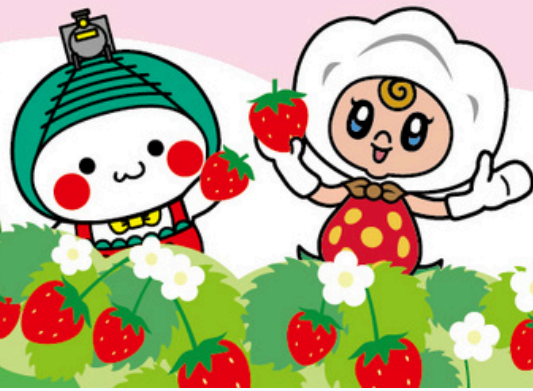


教育委員会だより!

もおか



第11号

令和7年3月発行

編集/発行：真岡市教育委員会学校教育課教育政策係
TEL：0285-81-9052 Email：gakkoukyouiku@city.moka.lg.jp

〒321-4395
栃木県真岡市荒町5191番地

★次号「教育委員会だより第12号」は
令和7年7月発行予定です

- 目次
- P1 ありがとう 科学教育センター
- P2 子育てコラム 真岡市の文化財
- P3 部活動指導員のおしごと
- P4 学校紹介 (久下田小学校) 学校における働き方改革



32年間 ありがとう 科学教育センター



平成5年に開所した真岡市科学教育センターは、多くの子どもたちや教師、市民の「科学する心」を育んできました。科学の楽しさや不思議さを体験的に学ぶ施設として、多くの人々に親しまれてきました。少年・少女時代に「科学の広場」や「プラネタリウム」を体験した保護者が、自分の子どもと一緒にワクワクする学びを追体験するなど、長い歴史の中に刻まれたエピソードがたくさん生まれました。この科学教育センターは、令和7年3月20日に32年間の歴史に幕を閉じます。



市民の「科学する心」を育てる事業

サイエンスショーや親子実験教室は、いつも子どもたちの輝く瞳でいっぱいでした。センターの先生は子どもたちのために一生懸命に内容を練り合い、驚きと学びに満ちた時間を提供し続けました。

プラネタリウム・天体観望

プラネタリウムや天体観望を通して、たくさん子どもたちが天体の不思議さに感動し、関心を高めました。

(亀山小学校 4年生 児童の感想より)

「先日はぼくたちに見学させていただき、ありがとうございます。冬の大三角や大六角など、ぼくの知らない星もたくさんあって、すごく勉強になりました。今度は他の星座も調べてみたいです。」



センター利用学習と教員研修事業

センターを利用して、市内小学校3年生から中学校3年生が一人一台ずつ器具を使った観察や実験に取り組みました。自分の手で器具を操作し、体験的に学ぶことで、観察や実験の技能を高めました。

また、センターは子どもたちに向き合う教師が指導法や実技を学ぶ場所でもあり、若手からベテランまで研修を通して多くを学びました。

センターは閉所しますが、ここで育まれた「科学する心」は子どもたち、教師、市民の中でこれからも育っていくのだと思います。

学ぶことの原動力は心をワクワクさせる「知的好奇心」です。真岡市では形を変えながらも子どもの「知的好奇心」を揺さぶる教育の充実を目指していきます。

長い間、センターをご利用いただき、ありがとうございました。





育てることは育つこと 教えることは学ぶこと



真岡市心理相談員
つむらや くみえ
園谷 公美恵先生



「なんど叱っても、言うことを聞きません」「もうしないって言ったのに、またやったんです」
保護者の涙ながらの訴えを伺うと、いつも身につまされます。大人として耳を傾けているときは、本当に
そうだ、と共感します。でも…子どもたちは本当に、わたしたちの話を「聴いて」、それに「応えて」いる
でしょうか。

あれは、小学校の5年生か、6年生のころ。ふとした拍子に「耳が動く！」という大発見をしました。動
かないと思っていたところが動くことに興奮し、大得意でわたしは母に自慢しました。しかし、母の対応は
ことのほか冷たく「まったく動いていないよ」と言うのです。「いや動いているでしょ、ほら」「動いてな
い。ぜんぜん。気のせいでしょう」そんなやりとりを経て、わたしはしょんぼり。な—んだ、気のせいだっ
たんだ。．．それきり、時折こめかみにぎゅっと力を入れてみるものの、誰に言うでもなく、日が過ぎてい
きました。

ある時、理由は忘れてしまったのですが、わたしは怒られていました。わたしの母は、大変お説教の多
い、そして長い人でした。母の前で正座をさせられ、うつむいて膝小僧を眺めながら長いながいお説教を右
から左へ流し続けます。やがて、あまりの長さに飽きたわたしは、こめかみに力を入れることに集中してい
ました。ぎゅっぎゅっぎゅっぎゅっ。

「耳を動かすんじゃないありません！！！！」母の大音量が降ってきたとき、わたしを最初に襲ったのは
「嘘つき！！！！」という驚きでした。そう、反省など、1ミリもなかったのです。

神妙にしているようでも、子どもが聞いているとは限らない、ということ。長いお説教には意味がないと
いうこと。そして、嘘をつくのは子どもを失望させるということ。

ときどき、笑いとともに思い出す、教訓です。

子どもの心理学を学んでいたとき、大人であるわたしたちが「子どもの心」を理解する方法は3つある、
と教えられました。1つ目は、子どもに聴くこと。2つ目は絵本を読むこと。そして3つ目は、自分の子
どもの頃を思い出すこと。もしかしたら、冒頭の子どもたちにも言い分があるのかもしれませんが。「だって聴
いてくれなかったよ」「もうしないって言わないと怒るじゃん」などなど。忙しい大人たちにとって、子
どもの言い分に耳を傾けるのはときに難しいものです。けれど、大人たちに「聴いてもらった」「わかって
もらった」という体験は、きっと子どもたちの糧となるでしょう。

一かつて子どもだった大人として、いつか大人になる子どもたちへ—
内なる子どもと、現実の子どもを真ん中において、育ち、育てていきたいと思います。

—ご相談がありましたら学校教育課までお気軽にお声掛けください—



—真岡市の文化財— NO. 8

奈良時代：芳賀郡衙跡と大内廃寺跡

古墳時代の終わり、芳賀郡は「下毛野国芳宜評」と呼ばれ、大和朝廷国家に
組み込まれていたことが奈良の都で見つかった木札でわかっています。それが
8世紀、奈良時代になると「下野国芳賀郡」へと変わったと考えられています。

その下野国芳賀郡の中心地が現在の真岡市京泉です。京泉には郡の役所である
堂法田遺跡（芳賀郡衙跡）と、郡のお寺である大内廃寺跡があります。役所
とお寺がセットでわかっている貴重な例で、栃木県の指定史跡になっています。



塔跡と金堂跡が残る京泉の大内廃寺跡

旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和
		紀元0年		西暦1000年		西暦2000年									

中学校部活動をサポートする 部活動指導員のお・し・ごと



真岡市では、中学校部活動における専門的な指導の充実と教職員の負担軽減を図るために、部活動指導員を配置しています。部活動指導員は、競技等の技術指導や大会への引率などを顧問の教職員と連携しながら行っています。今後、部活動の地域移行・地域展開に向けて、部活動指導員の人数を増やす予定です。

現在、市内中学校で活躍している6名の部活動指導員を紹介します。



部活動指導員の皆さんからのメッセージ



外部指導者として9年、部活動指導員として3年携わっています。子どもたちが日々成長していく姿を見ると、やりがいを感じます。中学生のみならず、スポーツを楽しみ、継続することで、必ず得るものがあります。これからも一緒に頑張っていきましょう。

真岡中学校 卓球部
大越一成さん



入部してきた頃より、立派に成長して卒業する姿を見ると嬉しく思います。学校生活と同様に、サッカーを通して技術だけでなくチームワークや相手への礼儀等も学んで欲しいと思っています。サッカーをやりたい生徒が増えるよう、頑張りたいと思います。

大内中学校 サッカー部
和田一人さん



技術面より、まずは相手への思いやりが大切です。剣道をやるにあたり、礼儀も、しっかり学んでほしいと思います。そこに技術面がついてくるので、自然と向上につながると思います。

山前中学校 剣道部
沖杉 智さん



卓球を通して知り合った皆さまとの縁、生徒が卓球を好きになってくれたことに感謝しています。挨拶や礼儀、自立と自覚、思いやりと協調性等、中学生としての「心の成長」を育む手助けとなり、生徒の笑顔を紡いでいければ幸いです。

物部中学校 卓球部
増山秀樹さん



部活動指導員として6年携わっています。何となく練習するのではなく、目的をはっきりさせ、考えながら練習することが大切だと伝えています。生徒は、上達するとハードな練習にも、楽しみながら取り組んでいます。

真岡西中学校 バドミントン部
櫻井幸雄さん



生徒が、練習したことを試合で実践し、ポイントを取って嬉しそうにしている姿を見ると、自分も嬉しくなります。「強くなりたい・勝ちたい」という気持ちが上達の鍵です。生徒の自信につながるような指導をしていきたいです。

中村中学校 ソフトテニス部
法師人昂紀さん

部活動の地域移行 —学校部活動から地域クラブ活動へ—

中学校の部活動は、現在、学校の教職員や部活動指導員・外部指導者が連携しながら指導していますが、生徒数の減少等により、これまで通りの体制を続けていくことが難しくなっています。そのため、中学校の部活動を、学校から地域での活動へと移行していく取組が、全国的に進められています。

真岡市では、令和7年度に休日の部活動を複数校が合同で活動するモデル事業を一部の種目で実施し、段階的に地域での活動に移行していく予定です。

今後、少子化の中でも、子どもたちが希望する活動に親しむことができるような環境整備を進めていきます。

部活動指導員...部活動の技術指導や大会への引率等に
従事する教職員以外の指導者
外部指導者 ...教職員や部活動指導員とともに技術指導等に
携わる指導者

真岡市では、外部指導者として34名の方が、市内各校で部活動の指導に携わっています。

部活動指導員・外部指導者研修会の様子



学校紹介 ⑨



★次回は中村小学校です



久下田小学校

— 教育目標 —
 いっしょけんめい勉強する子ども
 明るく元気な子ども
 なかよく思いやりのある子ども



久下田小のHP



旧校舎の頃(平成18年)

久下田小学校は「明るく活力あふれる学校」を目指しており、学校名の頭文字をとった「くじけない・くふう」「元気」「助け合う」くげたのころを大切に教育活動を実践しています。今年度は創立150周年を迎え、記念式典や栃木県警察音楽隊の演奏会を行いました。業間休みには「体力づくり」のほか、月に1回程度「クラス遊び」を実施しており、先生と児童が一緒になって楽しく活動しています。表現力の向上を目指し、100マス作文の取り組みにも力を入れています。担任以外の先生が作品の添削をしたり、代表作品を給食の時間に放送したりして、意欲の向上を図っています。今年度から学校運営協議会が設置され、本校はコミュニティ・スクールとなりました。保護者や地域の方々には、これまでも学校支援ボランティアや学校行事等でたくさんのご協力をいただいております。今後はさらに連携を深め「地域とともにある学校」づくりを推進していきます。



創立150周年集合写真



クラス遊び



児童集会



「こども110番の家」訪問



運動会の徒競走

—学校における働き方改革を推進しています—

真岡市教育委員会では「働き方改革推進委員会」を開催し、時間外勤務の状況、取組の成果や課題について協議しています。教員の心身の健康を保持し、子どもたちと十分に向き合う時間を確保することにつなげています。

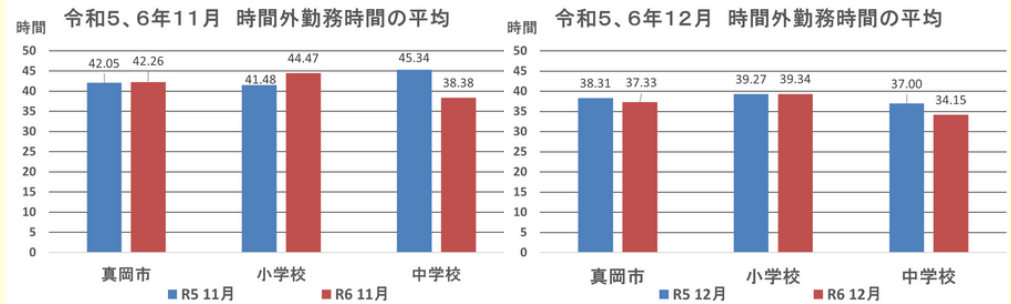


◇働き方改革推進委員会では、主にペーパーレス化、地域ボランティアの活用、教育DXについて話し合いました。

☆現在、市内小中学校では勤務時間外の電話対応について、自動音声による応答に切り替えています。ご理解とご協力をお願いいたします。



◎今年度の11、12月の時間外勤務時間は、中学校で昨年度よりも減少していました。



もう一步努力するところ

おもいやりのところ

かんじ、考え、学ぼうとするところ



バックナンバー



皆様のご意見、ご感想をお寄せください
 アンケートはこちらから！

